

光星、工大一 決勝ならず

高校野球青森大会 あす青森山田×聖愛



【準決勝・弘学聖愛一八学光星】2回八学光星1死三塁、鈴木悠斗の左飛で三走山ノ端立羽がタッチアップしたが生還できず＝20日、弘前はるか夢球場

第108回全国高校野球選手権青森大会は20日、弘前はるか夢球場で準決勝を行った。今春の選抜大会（セ・ンバツ）で8強入りの八学光星は、昨夏覇者の弘学聖愛に5―8で敗退。工大―は春季県大会を制した青森山田に八回コールドで屈し、県南勢の決勝進出はならなかった。【10ページに詳報】

八学光星は初回から打ち込まれたが、五回に打者一巡の猛攻で5―4と逆転に成功。だが、エース北口晃大が2点本塁打を浴びるなど、力負けを喫した。工大―は序盤、互角の展開を見せるが中盤以降に失点を重ねた。打線は相手投手陣を攻めあぐね、放った安打はわずか2本で三塁を踏むことができなかった。決勝は、22日午前10時に

同球場でプレーボール。2年ぶり県内最多13度目の優勝を狙う青森山田と、2連覇を期す弘学聖愛が激突する。（小嶋嘉文）